

副島八十六関係文書目録

2015.6 目録作成

国立国会図書館憲政資料室

副島八十六関係文書目録【凡例】

- ・2度（2011年10月、2013年5月）に分けて搬入した資料を統合して整理した。
- ・全体を「書簡の部」と「書類の部」に大別した。
- ・「書簡の部」は「1 副島宛書簡」、「2 副島発信書簡」、「3 日印協会宛書簡」、「4 第三者間書簡」に分類した。それぞれ、作成者別に日本人・漢字表記外国人・アルファベット表記外国人の順で、前二者は五十音順、後二者はアルファベット順に配列した。
- ・「書類の部」は「5 日記」、「6 著作」、「7 関連記事」、「8 日印協会・南洋関係」、「9 政界関係」、「10 写真」、「11 履歴資料」、「12 五十枝関係」、「13 書画」、「14 その他」に分類した。
- ・「6 著作」は副島が執筆した著作を収めた。
- ・「7 関連記事」は副島に関連した新聞・雑誌記事の切抜、抜刷類を収めた。
- ・「8 日印協会・南洋関係」は3、6、7に入らないものでインドや南洋に関係する資料を収めた。
- ・「9 政界関係」は自他の選挙に関係する資料を収めた。
- ・「10 写真」は写真や未使用の絵葉書類を収めた。大隈重信に関連するもの、勝海舟に関連するもの、副島に関連するもの、その他、の順に配列した。
- ・「11 履歴資料」は各種証明書、住所録、自筆履歴等を収めた。
- ・「12 五十枝関係」は井上通泰主宰の歌会、副島八十六編『副島五十枝』編集に関連した資料を収めた。
- ・「13 書画」は他者より寄贈された水墨画・揮毫類を収めた。
- ・「14 その他」は副島の著作に関連する史料、他者著作等を収めた。

*本資料群の寄贈にあたっては、土屋直子氏（当時青山学院大学大学院生）・小林和幸氏（青山学院大学教授）のご協力を得ました。本目録は土屋直子氏が作成した目録をもととし、目録詳細化・追加分等の整理・全体の統合等は金子元氏（東京女子大学丸山眞男記念比較思想研究センター）が担当して作成したものです。

副島八十六関係文書目録【目次】

【書簡の部】

1	副島宛書簡	p. 1
2	副島発信書簡	p. 9
3	日印協会宛書簡	p. 14
4	第三者間書簡	p. 15

【書類の部】

5	日記	p. 16
6	著作	p. 20
7	関連記事	p. 24
8	日印協会・南洋関係	p. 27
9	政界関係	p. 28
10	写真	p. 29
11	履歴資料	p. 34
12	五十枝関係	p. 35
13	書画	p. 38
14	その他	p. 40

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
【書簡の部】											
1 副島宛書簡											
1		合川清遠書簡	合川清遠	副島八十六	〔大正〕4年1月28日	選挙激励、過般来貴下立候補之件は読売新聞并昨二十七日大阪朝日等の逐鹿界記事中に於て拝見	墨書			1通	
2		安達謙蔵書簡	安達謙蔵	副島八十六	〔大正4年〕2月13日	選挙の公認通知	墨書			1通	
3	1	荒木貞夫書簡	荒木貞夫	副島八十六	5月20日	斎藤利兵衛氏御手紙拝承	墨書			1通	
3	2	荒木貞夫書簡	荒木貞夫	副島八十六	9月9日	斎藤氏より御委嘱の野沢町講演会	墨書			1通	
3	3	荒木貞夫書簡	荒木貞夫	副島八十六	〔昭和〕9月9日	拝借の重要書拝見御卓識拝読	墨書			1通	
3	4	荒木貞夫書簡	荒木貞夫	副島八十六	11月21日	本夕は御寵招千万謝し承り候	墨書			1通	
4		石井菊次郎書簡	石井菊次郎	副島八十六	明治42年9月14日	開国五十年史送付の件	墨書			1通	
5		石井隆書簡	石井隆	副島八十六	大正4年3月24日	投票の件	ペン			1通	名刺、2枚
6		出石休一書簡	出石休一	副島八十六	大正4年2月7日	選挙激励	ペン	葉書		1通	
7		一瀬書簡	一瀬	副島八十六	明治40年11月13日	〔開国〕五十年史売行き見込	ペン	葉書		1通	
8		一宮操子書簡	一宮操子	副島八十六	明治42年7月24日	〔蒙古土産〕出版への配慮御礼	ペン	葉書		1通	
9		犬養毅書簡	犬養毅	副島八十六	〔明治41年〕4月1日	開国五十年史送付の礼状	墨書			1通	書簡（内容書き起こし）、1枚

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
10		岩本千綱書簡	岩本千綱	副島八十六		一昨年暹羅に渡航、印度仏蹟巡拝に取り掛かる、中村直吉氏の件	墨書			1通	(1) 「印度佛蹟巡拝の主旨」、1枚／ (2) 中村直吉名刺、1枚
11		大井憲太郎書簡	大井憲太郎	副島八十六	6月17日	面会の希望	墨書			1通	
12		[大隈信常書簡]	[大隈信常]	副島八十六	8月14日	貴状拝見、当地晴天続き愉快（軽井沢より）	墨書	絵葉書		1通	
13		大谷光瑞書簡	大谷光瑞	副島八十六	2月4日	御芳書を拝受し感銘仕候。並びに御高著を拝見し御卓見の程、更に感佩仕候。南方進出につき所感	ペン			1通	
14		金子啓蔵書簡	金子啓蔵	副島八十六	10年7月30日	日蘭商業新聞社に留まり日蘭印経済問題を中心に勉強	ペン	絵葉書		1通	
15		川治元書簡	川治元	副島八十六	大正4年1月28日	選挙激励	墨書	葉書		1通	
16		川添力蔵書簡	川添力蔵	副島八十六	大正4年3月24日	投票の約束	墨書	葉書		1通	
17		神崎憲一書簡	神崎憲一	副島八十六	大正4年2月3日	釜山日報社から京城日報社への異動挨拶状	ペン、印刷	葉書		1通	
18		北里柴三郎書簡	北里柴三郎	副島八十六	明治25年10月4日	禁酒についての演説依頼受諾	墨書			1通	
19		斎藤実書簡	斎藤実（海軍次官）	副島八十六	6月17日	講和会に海軍大佐伊東〔藤〕乙次郎を出席せしむ	墨書		伊藤乙次郎が軍務局先任局長時代（明治38年1月12日～明治40年12月9日）のものカ	1通	
20		澤井夏子書簡	澤井夏子	副島八十六	明治33年8月3日	墓地移転の件	墨書		澤井は副島の実姉	1通	
21		渋沢栄一書簡	渋沢栄一	副島八十六	5年5月10日	日印協会総会での演説について14日午後打合	墨書			1通	
22		M. Shibuya書簡	M. Shibuya	副島八十六	明治43年11月17日		ペン		封筒と切手103枚（付属資料）のみ	1通	使用済切手、103枚

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
23	1	白鳥信一書簡	白鳥信一	副島八十六	明治38年11月	サンクトペテルブルクより、一月には着京	ペン	葉書		1通	
23	2	白鳥信一書簡	白鳥信一	副島八十六	明治39年1月1日	賀状	ペン	葉書		1通	
23	3	白鳥信一書簡	白鳥信一	副島八十六	明治39年6月29日	ロンドンより近況報告	ペン	葉書		1通	
23	4	白鳥信一書簡	白鳥信一	副島八十六	明治44年11月21日		ペン		封筒のみ	1通	
24		杉野耕三郎書簡	杉野耕三郎（通信省北京郵便局長）	副島八十六	明治42年11月2日	宣統皇帝即位記念切手貴覧に供し候	墨書	葉書		1通	
25		杉山茂丸書簡	杉山茂丸	副島八十六	昭和10年2月13日	過日は態々御来訪被下御厚意千万	墨書			1通	
26		関口為吉書簡	関口為吉	副島八十六	大正4年3月25日	投票の約束	墨書	葉書		1通	
27		副島真坦書簡	副島真坦	副島八十六		渡米の志願を貫徹すべし	墨書			1通	
28	1	高嶋米峰書簡	高嶋米峰	副島八十六	昭和23年9月20日	十五日開腹手術を了へ辛て一命をとりとめたり	ペン	葉書		1通	
28	2	高嶋米峰書簡	高嶋米峰	副島八十六	昭和23年11月26日	病気見舞い	ペン	葉書		1通	
29	1	田辺尚雄書簡	田辺尚雄	副島八十六	〔昭和22年〕4月16日	田中正平追悼講演会、演奏会の計画について	ペン	葉書		1通	
29	2	田辺尚雄書簡	田辺尚雄	副島八十六	昭和22年7月24日	田中正平遺稿集の打ち合わせについて	ペン	葉書		1通	
29	3	田辺尚雄書簡	田辺尚雄	副島八十六	昭和23年8月18日	田中正平遺稿集について	ペン	葉書		1通	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
30	1	坪内逍遙書簡	坪内逍遙	副島八十六		別紙にて云々	墨書		付属資料は『開国五十年史』所収	1通	〈1〉九代目市川団十郎、五代目尾上菊五郎の評、1枚／〈2〉同写真
30	2	坪内逍遙書簡	坪内逍遙	副島八十六		一冊代価云々	墨書		「早稲田大隈侯邸 開国五十年史編輯所御中（朱筆で「副嶋様」）原稿入」	1通	
30	3	坪内逍遙書簡	坪内逍遙	副島八十六	4月24日	副島の義太夫論に寄せた批評	墨書	原稿用紙	副島著『義太夫盛衰論』所収	1通	
30	4	坪内逍遙書簡	坪内逍遙	副島八十六	1月23日	礼状	ペン	葉書		1通	
30	5	坪内逍遙書簡	坪内逍遙	副島八十六	2月13日	口述の筆記拝読、早稲田文学などの誌上に発表してはどうか	墨書			1通	
30	6	坪内逍遙書簡	坪内逍遙	副島八十六	明治37年12月8日	十一日交歓会の件	墨書	葉書		1通	
30	7	坪内逍遙書簡	坪内逍遙	副島八十六	明治40年11月11日	家庭試演会招待	墨書	葉書		1通	
31	1	時田琢郎書簡	時田琢郎	副島八十六	明治34年10月19日	ポートサイド着	ペン	葉書		1通	
31	2	時田琢郎書簡	時田琢郎	副島八十六	明治38年1月1日	賀状	ペン	葉書		1通	
32		鳥居龍蔵・きみ子書簡	鳥居龍蔵・鳥居きみ子	副島八十六	明治41年1月1日	賀状	墨書	葉書		1通	
33		永井柳太郎書簡	永井柳太郎	副島八十六	[昭和7～8年] 2月13日	人参丸拝受	墨書		拓務省用封筒	1通	
34		中橋徳五郎書簡	中橋徳五郎	副島八十六	7月29日	御高論拝読敬服の至り、音曲就中全国小学校の唱歌改良が必要	墨書			1通	
35		西貫一書簡	西貫一	副島八十六	6月13日	ジャワの近況報告	ペン			1通	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
36		二条基弘書簡	二条基弘（北海道旧土人教育会会頭）	副島八十六	明治33年8月17日		墨書		封筒のみ	1通	
37	1	新渡戸稲造書簡	新渡戸稲造	副島八十六	〔昭和2年〕8月20日	『副島五十枝』読後所感	墨書			1通	
37	2	新渡戸稲造書簡	新渡戸稲造	副島八十六	〔昭和3年〕8月20日	見舞いと著書寄贈の礼状	墨書			1通	
38		野口米次郎書簡	野口米次郎	副島八十六	〔昭和〕9年9月8日	『印度人の国民性』読後所感	ペン			1通	
39		秦晴吉書簡	秦晴吉	副島八十六	明治43年9月25日		墨書		封筒のみ	1通	
40		馬場達郎書簡	馬場達郎	副島八十六	1月3日	賀状	墨書			1通	
41		浜口雄幸書簡	浜口雄幸	副島八十六	大正14年5月27日	五十枝訃報への弔辞	墨書			1通	
42		原田助書簡	原田助	副島八十六	明治41年1月1日	賀状	墨書、印刷	葉書		1通	
43		広田弘毅書簡	広田弘毅	副島八十六	昭和9年5月11日	副島宛書簡2枚、南洋委任統治領に関する外務省条約局の意見10枚	印刷、墨書	外務省用箋		1通	
44		二見金助書簡	二見金助	副島八十六	〔大正2年〕5月6日	浄瑠璃論について	墨書		二代目竹本越路太夫	1通	
45		二荒芳徳書簡	二荒芳徳	副島八十六	昭和8年9月1日	貴著エッセンス・オヴ・ブシドウを拝見し頗る御教示を得し心持致し候	ペン			1通	
46		法貴慶次郎書簡	法貴慶次郎	副島八十六	明治38年9月4日	北京到着報告	ペン	葉書		1通	
47		星野天知書簡	星野天知	副島八十六	12月16日	満株達成につき南洋商会の発企者中より除名を希望	墨書			1通	

副島八十六関係文書目録

請求 番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
48		真崎甚三郎書簡	真崎甚三郎	副島八十六		近況と戦後政治に対する批判	墨書			1通	
49		増田高頼書簡	増田高頼（海軍中佐）	副島八十六	大正3年7月10日	22日、23日頃出発	墨書	絵葉書		1通	
50	1	松村介石書簡	松村介石	副島八十六	10年1月9日	演説の依頼、所要時間について	墨書			1通	
50	2	松村介石書簡	松村介石	副島八十六	〔昭和8年〕6月17日	意見書への礼状	墨書			1通	
50	3	松村介石書簡	松村介石	副島八十六	4月	昨日出向かれたことを名刺受にて承知	墨書			1通	
51		宮島大八書簡	宮島大八	副島八十六	昭和13年12月23日	招待に応じられなかったことの詫び状	墨書	葉書		1通	
52		村松恒一郎書簡	村松恒一郎	副島八十六	明治39年1月1日	賀状	墨書、印刷、鉛筆	葉書		1通	
53		森林太郎書簡	森林太郎（陸軍省医務局長）	副島八十六	明治45年2月1日	軍用奉銃払下の件	ペン			1通	
54		八木暁書簡	八木暁	副島八十六	明治41年11月13日		墨書、ペン		封筒のみ	1通	
55		K. Yagi書簡	K. Yagi	副島八十六	明治33年6月18日		ペン		封筒と切手14枚（付属資料）のみ	1通	使用済み切手、14枚
56		安岡正篤書簡	安岡正篤	副島八十六	不明〔戦後〕	日計不足、年計有余という言葉通りの覚悟と政策の為なく焦燥すれば狂を発し云々	墨書	葉書		1通	
57		安本〔重治〕書簡	安本〔重治〕	副島八十六		シドニー到着報告	ペン	葉書		1通	
58		柳川平助書簡	柳川平助	副島八十六	昭和16年8月11日		墨書			1通	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
59		柳田国男書簡	柳田国男	副島八十六	昭和24年6月11日	長谷川如是閑と二人奈良方面へ一遊	ペン	絵葉書		1通	
60		山県五十雄書簡	山県五十雄	副島八十六	明治33年10月3日	ご依頼の拙訳差出し申上候	墨書、ペン			1通	英語書簡草稿、1点
61		山路愛山書簡	山路愛山	副島八十六	明治41年7月4日	面会の件	墨書	葉書		1通	
62		山下千代雄書簡	山下千代雄	副島八十六	明治39年1月1日	賀状	墨書	葉書		1通	
63	1	孫文書簡	孫文	副島八十六	明治34年8月18日	副島の南洋渡航前に面会希望	墨書			1通	
63	2	孫文書簡	孫文	副島八十六	[明治33年] 6月5日	8日に香港へ出発予定、7日午後に会いたい	墨書			1通	
63	3	孫文書簡	孫文	副島八十六	4月17日	明十八日上京の予定	墨書			1通	
63	4	孫文書簡	孫文	副島八十六	明治34年9月28日	近日不能来京定期廿九日午後在寓候	墨書			1通	
64	1	陳少白書簡	陳少白	副島八十六	明治31年3月16日	観梅に同行	墨書	葉書	服部二郎名義	1通	
64	2	陳少白書簡	陳少白	副島八十六	明治31年6月3日	会合延期希望	墨書、ペン	葉書	服部名義、英語	1通	
64	3	陳少白書簡	陳少白	副島八十六	明治31年6月7日	東京到着、林氏に面会希望	ペン	葉書	服部名義、英語	1通	
64	4	陳少白書簡	陳少白	副島八十六	10月28日		墨書			1通	
64	5	陳少白書簡	陳少白	副島八十六	1月16日	足下南行の期、已に決し喜悦に勝へず	墨書			1通	

副島八十六関係文書目録

請求 番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
64	6	陳少白書簡	陳少白	副島八十六	明治31年8月25日	尊宅訪問したが不在で残念、現在長崎	墨書		服部二郎名義	1通	
64	7	陳少白書簡	陳少白	副島八十六		林君と面会	墨書			1通	
65		陳福祿書簡	陳福祿	副島八十六	明治38年9月29日		カーボン		インドネシア語（海峡マレー語）	1通	
66		サー・レジナルド・エフ・ジョンストン博士の書簡（訳文）	サー・レジナルド・エフ・ジョンストン	副島八十六	昭和10年9月10日	『武士道の真髓』読後所感	印刷		番号66、68、143、144、154、249、263、267、276、278、279もと同封	1通	
67		Tie Sing Tjaij書簡	Tie Sing Tjaij	副島八十六	明治37年9月25日	書籍の注文カ	ペン		マレー語カ	1通	副島の見積書、1通
68		Jenny Yamada書簡	Jenny Yamada	副島八十六	昭和9年2月8日	『武士道の真髓』読後所感	タイプ		英語、番号66、68、143、144、154、249、263、267、276、278、279もと同封	1通	日本語訳稿、2枚
69		[差出人不明]書簡	[差出人不明]	副島八十六	明治33年6月1日		ペン		封筒のみ	1通	
70		[差出人不明]書簡	[差出人不明]	副島八十六	明治33年6月15日		ペン		封筒のみ	1通	
71		[差出人不明]書簡	[差出人不明]	副島八十六	昭和12年8月27日	百武君上海にて社務活躍中敵人の狙撃を受け重体	ペン			1通	
72		[差出人不明]書簡	[差出人不明]	副島八十六	9年6月3日		ペン	絵葉書		1通	
73		[差出人不明]書簡	[差出人不明]	副島八十六	11年7月11日	借金返上の件	墨書	葉書	明治植民合資会社印	1通	
74		[差出人不明]書簡	[差出人不明]	副島八十六	11年10月12日	老兄の故郷へ来て佐賀と武雄の■ニヶ所で喋って十四日に帰京の予定	ペン	絵葉書		1通	

副島八十六関係文書目録

請求 番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
2 副島発信書簡											
75		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治34年11月5日	アモイ到着	墨書	葉書	日付は消印より取得	1通	
76		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治34年11月6日	香港からジャワへ渡航予定	墨書	葉書	日付は消印より取得	1通	
77		副島八十六書簡	副島八十六	吉崎みち	明治34年11月8日	香港山腹公園の風景	ペン	絵葉書	日付は消印より取得	1通	
78	1	副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治34年11月15日	香港山上之景	ペン	絵葉書	日付は消印より取得	1通	
78	2	副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治34年11月8日	香港ケーブルカーの写真	ペン	絵葉書		1通	
79		副島八十六書簡	副島八十六	齋藤太郎	明治35年2月9日	写真恵贈御礼	ペン、 墨書、 鉛筆	葉書	文面を鉛筆で黒塗り	1通	
80		副島八十六書簡	副島八十六	齋藤太郎	明治35年5月7日	ジャワ、プロブドール遺跡の様子	ペン、 墨書	絵葉書		1通	
81		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治35年9月9日	ジャワの果物	墨書、 印刷	絵葉書		1通	
82		副島八十六書簡	副島八十六	〔副島隆子〕	〔明治36年〕	漢文教科書送付依頼	墨書		一部欠損	1通	
83		副島八十六書簡	副島八十六	松田順平	明治36年8月7日	帰国報告	印刷、 墨書	葉書		1通	
84		副島八十六書簡	副島八十六		明治37年1月1日	賀状	印刷	葉書	未送	1通	
85		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治40年3月10日	箱根木賀	墨書	絵葉書	日付は消印より取得	1通	

副島八十六関係文書目録

請求 番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
86		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治40年3月10日	元箱根	墨書	絵葉書	日付は消印より取得	1通	
87		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治40年3月10日	奈良屋ホテル	墨書	絵葉書	日付は消印より取得	1通	
88		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治40年3月10日	湯本玉簾廻瀧	墨書	絵葉書	日付は消印より取得	1通	
89		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治40年3月10日	箱根旧関所跡	墨書	絵葉書	日付は消印より取得	1通	
90		副島八十六書簡	副島八十六	副島隆子	明治40年3月10日	奈良屋ホテル	墨書	絵葉書	日付は消印より取得	1通	
91		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治40年3月11日	箱根並木ノ景	墨書	絵葉書	日付は消印より取得	1通	
92		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年10月6日	奉天から山海関までの旅程	ペン	絵葉書	4枚組のうち、(三)欠	1通	
93		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年9月23日	大坂滞在の様子	ペン	絵葉書	5枚組	1通	
94		副島八十六書簡	副島八十六	副島隆子	明治42年9月25日	門司より大連へ出港予定	ペン	絵葉書		1通	
95		副島八十六書簡	副島八十六	副島隆子	明治42年9月25日	日本文〔開国〕五十年史送付依頼	ペン	絵葉書		1通	
96		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年9月25日	神戸出帆	ペン	絵葉書		1通	
97		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年9月25日	門司着、下関へ渡り見物	ペン	絵葉書		1通	
98		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年9月30日	旅順着、二百三高地等見物	ペン	絵葉書		1通	

副島八十六関係文書目録

請求 番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
99		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年10月1日	大石橋駅通過	ペン	絵葉書		1通	
100		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年10月4日	東三省総督錫良氏へ書籍贈呈	ペン	絵葉書		1通	
101		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年10月4日	北陵参観	ペン	絵葉書		1通	
102		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年10月13日	天津発	ペン	絵葉書		1通	
103		副島八十六書簡	副島八十六	副島隆子	明治42年10月15日	張家口着	ペン	葉書		1通	
104		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年10月15日	張家口着	ペン	葉書		1通	
105		副島八十六書簡	副島八十六	副島隆子	明治42年10月19日	北京滞在延期	ペン	葉書		1通	
106		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年10月27日	11月9日北京出発、12月中頃帰国予定	ペン	絵葉書		1通	
107		副島八十六書簡	副島八十六	副島隆子	明治42年11月13日	漢口到着、大歓迎会を受く	ペン	葉書		1通	
108		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年11月21日	今早朝長沙より漢口へ向け出帆	ペン	葉書		1通	
109		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年12月	筑後丸の晩餐献立	ペン		未送	1通	
110		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年11月21日	揚子江にて絵葉書入手	ペン	絵葉書		1通	
111		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年11月25日	南京行途上	ペン	絵葉書		1通	
112		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年11月26日	南京着	ペン	絵葉書	(一) の番号があるが他は欠	1通	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
113		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年12月2日	南京所感、今後の旅程	ペン	絵葉書	12枚組	1通	
114		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年12月4日	西湖の景色	ペン	絵葉書	3枚組	1通	
115		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年12月6日	上海発、近況、今後の予定	ペン	葉書		1通	
116		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年12月8日	長崎着、今後の予定	ペン	絵葉書	5枚組	1通	
117		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治42年12月10日	筑後丸12月10日晚餐メニュー、伊予沖にて、長崎上陸の感興	ペン			1通	
118		副島八十六書簡	副島八十六	副島隆子	明治42年12月11日	筑後丸12月9日晚餐メニュー、播磨灘航行中、今後の予定	ペン			1通	
119		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治43年10月10日	京城到着、歓迎を受く	ペン	絵葉書	2枚組	1通	
120		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治43年10月11日	京城出発、その後の予定	ペン	絵葉書		1通	
121		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治43年10月12日	平壤通過	ペン	絵葉書		1通	
122		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治43年10月14日	新義州から鴨緑江を渡り清国安東県に至る、久山順平の歓待を受く	ペン	絵葉書	4枚組	1通	
123		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治43年10月14日	新義州を出発し開城着、朝鮮人参生産を視察	ペン	絵葉書	2枚組	1通	
124		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治43年10月14日	仁川到着、中村春吉と再会	ペン	絵葉書	2枚組	1通	
125		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治43年10月15日	釜山から連絡船対馬丸に乗船	ペン	絵葉書		1通	
126		副島八十六書簡	副島八十六	副島隆子・五十枝	明治43年10月16日	馬関着、大阪文楽座の公演に合わせ観光団一行を離れ早めに出発するかもしれない	ペン	絵葉書	3枚組	1通	

副島八十六関係文書目録

請求 番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
127		副島八十六書簡	副島八十六	副島隆子	明治43年10月16日	熟考の末、一行の列車で出発	ペン	絵葉書		1通	
128		副島八十六書簡	副島八十六	副島隆子	明治43年10月18日	大阪到着、文楽鑑賞	ペン	絵葉書		1通	
129		副島八十六書簡	副島八十六	副島隆子	明治43年10月20日	松茸狩りに参加の予定	ペン	絵葉書	2枚組	1通	
130		副島八十六書簡	副島八十六	副島隆子	明治43年10月21日	宇治の松茸を送る	ペン	葉書		1通	
131		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	明治45年3月26日	奈良に到着、亀山、名古屋へ行く 予定	ペン	絵葉書		1通	
132		副島八十六書簡	副島八十六	源田八之助	大正4年3月23日	投票依頼	印刷、 墨書		不着	1通	
133		副島八十六書簡	副島八十六	稲垣喜市	大正4年3月24日	投票依頼	印刷、 墨書	葉書	不着	1通	
134		副島八十六書簡	副島八十六	副島昭子	大正8年7月15日	香取神宮参拝記念	ペン	絵葉書		1通	
135		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	大正8年7月15日	香取神宮参拝記念	ペン	絵葉書		1通	
136		副島八十六書簡	副島八十六	副島昭子	大正8年7月16日	鹿島神宮参拝記念	ペン	絵葉書		1通	
137		副島八十六書簡	副島八十六	副島五十枝	大正8年7月16日	鹿島神宮参拝記念	ペン	絵葉書		1通	
138		〔副島八十六書簡（草 稿）〕	〔副島八十六〕	広田弘毅	昭和11年3月23日	文相に荒木大将を推薦	ペン			1通	
139		副島八十六書簡	副島八十六	副島隆子	昭和20年11月20日	雲仙岳を降り大浦へ向かう	ペン	絵葉書		1通	
140		〔副島八十六書簡（草 稿）〕	〔副島八十六〕	Luitenant Lauw Siok Jin		ジャワ貿易の見込	ペン			1通	

副島八十六関係文書目録

請求 番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
3 日印協会宛書簡											
141		Affif Brothers & Co. 書簡	Affif Brothers & Co.	日印協会	昭和22年10月13日	The Indo-Japanese business directory送付希望	タイ プ、ペ ン	葉書	英語	1通	
142		Cosmopolitan Trading Association 書簡	Cosmopolitan Trading Association	日印協会	昭和22年6月26日	The Indo-Japanese business directory送付希望	タイ プ、ペ ン		英語	1通	日本語訳稿、4枚
143		Dunhill Company 書簡	Dunhill Company	日印協会	昭和22年9月30日	The Indo-Japanese business directory送付希望	タイプ		英語、番号66、68、143、144、154、249、263、267、276、278、279もと同封	1通	日本語訳稿、1枚
144		N. Jeramdas & Co. 書簡	N. Jeramdas & Co.	日印協会	昭和22年6月16日	The Indo-Japanese business directory送付希望	タイプ		英語、番号66、68、143、144、154、249、263、267、276、278、279もと同封	1通	日本語訳稿、1枚
145		Nanoomal Issardas Motiwalla 書簡	Nanoomal Issardas Motiwalla	日印協会	昭和22年5月26日	雑貨類商取引案内	タイプ	葉書	英語	1通	
146		P. K. Japee 書簡	P. K. Japee	日印協会	昭和22年9月15日	貿易事業の件につき面会希望	カーボ ン			1通	
147	1	Salemahomed Padamsee & Co. 書簡	Salemahomed Padamsee & Co.	日印協会	昭和22年9月4日	ガラス食器等取引の案内	タイプ		英語	1通	
147	2	Salemahomed Padamsee & Co. 書簡	Salemahomed Padamsee & Co.	日印協会会長	昭和22年9月4日	ガラス食器等取引の案内	タイプ		英語	1通	
147	3	Salemahomed Padamsee & Co. 書簡	Salemahomed Padamsee & Co.	日印協会	昭和22年9月4日	ガラス食器等取引の案内	印刷、 タイ プ、ペ ン		英語	1通	日本語訳稿、5枚
148		[差出人不明] 書簡	[差出人不明]	[日印協会]	昭和22年7月25日		ペン		ベンガル語カ、カルカッタの消印	1通	
149		[差出人不明] 書簡	[差出人不明]	[日印協会]	昭和22年8月18日		ペン		ウルドゥー語カ、デリーの消印	1通	
150		[差出人不明] 書簡	[差出人不明]	[日印協会]	昭和22年		ペン	葉書	ウルドゥー語カ、カシミール、パーラムの消印	1通	
151		[差出人不明] 書簡	[差出人不明]	[日印協会]			ペン	葉書	インドからの書簡	1通	
152		[差出人不明] 書簡	[差出人不明]	[日印協会]	7月		ペン		ウルドゥー語カ、スィアールコート の消印	1通	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
153		[差出人不明]書簡	[差出人不明]	[日印協会]	7月11日		ペン		ウルドゥー語カ	1通	
154		日印協会書簡発信控	日印協会	N. Jeramdas & Co.	昭和22年9月7日	The Indo-Japanese business directoryは1943年から発行を停止しているが発行再開の際には新たな広告費のリストと共に送付する	タイプ		英語、番号66、68、143、144、154、249、263、267、276、278、279もと同封	1通	
4 第三者間書簡											
155		朝河貫一書簡	朝河貫一	大隈重信	明治41年3月1日	開国五十年史和文の分未到着	ペン	絵葉書		1通	
156		大隈綾子書簡	大隈綾子				墨書	絵葉書	署名のみ	1通	
157	1	大隈光子書簡	大隈光子	副島隆子	7年8月15日		ペン	封筒	番号12、157-2、157-4、157-5、479を封入	1通	
157	2	大隈光子書簡	大隈光子	副島隆子	8月6日	写真一枚差し上げる、此地の様子	ペン	絵葉書		1通	
157	3	大隈光子書簡	大隈光子	副島隆子	7月12日	『副島五十枝』に寄稿した和歌など	墨書	巻紙		1通	
157	4	大隈光子書簡	大隈光子	副島隆子	8月15日	新誌、御菓子の送付の礼状	ペン	葉書		1通	
157	5	大隈光子書簡	大隈光子	副島昭子	8月28日	上海での御主人様負傷への見舞	ペン	葉書		1通	
158		大西祝書簡	大西祝	松村介石	明治31年3月23日	スエズ到着報告	ペン	葉書		1通	
159		清浦奎吾書簡	清浦奎吾	大隈重信	明治43年8月9日	言議の件、通相当初よりの関係あれば通信省に於て取扱候方諸事好都合なるべし	墨書			1通	
160		皇后宮職書簡	皇后宮職	副島〔種臣〕(伯爵)家家扶	明治38年2月4日	皇后より酒食下賜	墨書			1通	
161		桜井彦一郎書簡	桜井彦一郎	大隈重信	明治41年1月3日		ペン		封筒のみ	1通	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
162		副島真坦書簡	副島真坦	澤井〔夏子〕	〔明治12年〕		墨書			1通	
163		副島隆子書簡	副島隆子	百武末義、百武昭子			ペン			1通	副島義子書簡、1通
164		林権助書簡	林権助	大隈重信	明治40年12月27日	醇親王よりの書簡を転送	墨書			1通	愛新覚羅載灃書簡、1通
165		[差出人不明]書簡	[差出人不明]	大隈重信	明治41年10月12日		ペン		封筒のみ	1枚	
166		[差出人不明]書簡	[差出人不明]	大隈重信	明治41年11月22日		ペン		封筒のみ	1通	
167		[差出人不明]書簡	[差出人不明]	大隈重信	明治43年1月3日		ペン		封筒のみ	1通	

【書類の部】

5 日記

168		日記（反省記） 第一号	副島八十六		明治25年5月9日～7月13日		墨書			1冊	
169		日記（忘れがたみ） 第二号	副島八十六		明治25年7月14日～11月30日		墨書			1冊	
170		日記（忘れがたみ） 三号	副島八十六		明治25年12月2日～明治26年5月22日		墨書			1冊	
171		日記（忘れがたみ） 四号	副島八十六		明治26年5月22日～6月23日		墨書			1冊	
172		日記（忘れがたみ）〔五〕号	副島八十六		明治26年6月25日～8月9日		墨書			1冊	
173		日記（忘れがたみ） 六号	副島八十六		明治26年8月10日～10月8日		墨書			1冊	
174		日記（忘れがたみ） 七号	副島八十六		明治26年10月9日～11月20日		墨書			1冊	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
175		日記（忘れがたみ） 八号	副島八十六		明治26年11月21日 ～12月17日		墨書			1冊	
176		日記（忘れがたみ） 九号	副島八十六		明治26年12月20日 ～明治27年4月5日		墨書			1冊	
177		日記（忘れがたみ） 十号	副島八十六		明治27年4月6日～ 11月11日		墨書			1冊	
178		日記（忘れがたみ） 十一号	副島八十六		明治27年11月14日 ～明治28年4月13日		墨書			1冊	〔明治27年11月〕13日、14日の日記、1枚
179		日記（忘れがたみ） 十二号	副島八十六		明治28年4月15日 ～5月25日		墨書			1冊	
180		日記（忘れがたみ） 十三号	副島八十六		明治28年5月26日 ～8月3日		墨書			1冊	
181		日記（忘れがたみ） 十四号	副島八十六		明治28年8月4日～ 9月30日		墨書			1冊	
182		日記 十五号	副島八十六		明治28年10月1日 ～明治29年3月18日		墨書			1冊	
183		日記（忘れがたみ） 十六号	副島八十六		明治29年3月19日 ～4月19日		墨書			1冊	
184		日記（忘れがたみ） 十七号	副島八十六		明治29年6月3日～ 7月8日		墨書			1冊	
185		日記（忘れがたみ） 新一号	副島八十六		明治29年7月11日 ～9月30日		墨書			1冊	
186		日記（忘れがたみ） 新二号	副島八十六		明治29年10月1日 ～11月21日		墨書			1冊	
187		日記（浮世之波） 新三号	副島八十六		明治29年11月22日 ～明治30年1月7日		墨書			1冊	
188		日記（とりのほばたき） 新四号	副島八十六		明治30年1月8日～ 2月10日		墨書			1冊	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
189		日記（かしまたち）新五号	副島八十六		明治30年2月10日 ～3月24日		墨書			1冊	
190		日記（かしまたち）新六号	副島八十六		明治30年3月25日 ～4月19日		墨書			1冊	
191		日記（椰子吹く風）新七号	副島八十六		明治30年4月20日 ～5月5日		墨書			1冊	
192		日記（椰子之下風）新八号	副島八十六		明治30年6月6日～ 明治31年1月27日		墨書			1冊	
193		日記（春雨日記）新九号	副島八十六		明治31年1月28日 ～7月16日		墨書			1冊	
194		日記（行雲流水録）新十号	副島八十六		明治31年7月17日 ～12月10日		墨書			1冊	
195		日記（風雲漫録）新十一号	副島八十六		明治31年12月11日 ～明治32年7月26日		墨書			1冊	
196		日記（南溟余録）新十二号	副島八十六		明治32年7月27日 ～11月13日		墨書			1冊	
197		日記（東西南北）新十三号	副島八十六		明治32年11月14日 ～明治33年1月22日		墨書			1冊	
198		日記（南亜漫録）新十四号	副島八十六		明治33年1月23日 ～6月12日		墨書			1冊	
199		日記（清風余録）新十五号	副島八十六		明治33年6月13日 ～8月26日		墨書			1冊	
200		日記（天地茫々）新十六号	副島八十六		明治33年9月27日 ～11月19日		墨書			1冊	
201		日記（東奔西走録）新十七号	副島八十六		明治33年11月20日 ～12月11日		墨書			1冊	
202		日記（南船北馬）新十八号	副島八十六		明治34年3月12日 ～5月30日		墨書			1冊	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
203		日記（新天地） 新十九号	副島八十六		明治34年5月31日 ～8月6日		墨書			1冊	
204		日記（夏雲秋月） 新二十号	副島八十六		明治34年8月7日～ 11月3日		墨書			1冊	第三次渡航挨拶葉書、1枚
205		日記（長風万里） 新二十一号	副島八十六		明治34年11月4日 ～明治35年3月20日		墨書			1冊	
206		日記（泗水漫稿） 新二十二号	副島八十六		明治35年3月21日 ～7月3日		墨書			1冊	
207		日記（越鳥胡馬） 新二十三号	副島八十六		明治35年7月4日～ 8月11日		墨書			1冊	
208		日記（雲煙矇々） 新二十四号	副島八十六		明治35年8月12日 ～9月16日		墨書			1冊	
209		日記（呼天号地） 新二十五号	副島八十六		明治35年9月17日 ～10月16日		墨書			1冊	
210		日記（四大茫々） 新二十六号	副島八十六		明治35年10月17日 ～11月23日		墨書			1冊	
211		日記（我去何之） 新二十七号	副島八十六		明治35年11月24日 ～明治36年1月11日		墨書			1冊	
212		日記（雲消太虚） 新二十八号	副島八十六		明治36年1月12日 ～明治36年5月10日		墨書			1冊	
213		日記（高月一輪） 新二十九	副島八十六		明治36年5月11日 ～6月23日		墨書			1冊	
214		日記（一陽来復）	副島八十六		明治36年6月24日 ～7月2日		墨書			1冊	
215		日記	副島八十六		明治38年8月1日～ 明治40年1月27日		ペン		明治38年10月31日～明治40年1月22日の日記なし	1冊	
216		日記	副島八十六		大正13年2月29日 ～6月25日		ペン	Pocket diary		1冊	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
217		日誌抄（一葉女史に関する記事抜萃）	副島八十六		明治29年9月6日～ 明治30年2月28日		印刷[謄写]			1綴	
6 著作											
218		副島八十六先生演説筆記 （『京華交友会雑誌』9抜刷）			明治34年7月		印刷			1冊	
219		赤道直下の半歳（『太陽』 12(13)、(14)抜刷）	副島八十六		明治39年10月1日 ～11月1日		印刷、 鉛筆		書き込み有	2冊	
220		義太夫の過去現在および将来 （『新世界』1(4・5)抜刷）	副島八十六		明治44年6月1日～ 明治44年7月1日		印刷、 ペン		書き込み有	1冊	
221		『世界之日本』6(3)	世界之日本社		大正4年3月1日	副島著「不真面目なる先輩政治家」	印刷		国民党撲滅号	1冊	
222		百年後の日本（『信越新聞』）	副島八十六		大正4年5月30日	北守南進論・海主陸従主義批判	印刷			1枚	
223		印度の現在及将来（『中央公論』 31(8)抜刷）	副島八十六		大正5年7月15日		印刷、 鉛筆		書き込み有	1冊	
224		印度と日本（『大観』8月号 抜刷）	副島八十六		大正7年6月15日		印刷			1冊	
225		阿波の人形芝居に就いて （『早稲田文学』185抜刷）	副島八十六		大正10年3月25日		印刷、 鉛筆		書き込み有	1冊	
226		無理に面会を求めた以来の 関係（『大観』5(2)抜刷）	副島八十六		大正11年2月1日		印刷、 鉛筆		大隈侯哀悼号、書き込み有	1冊	
227		日英関係を論じて印度民族 の将来に及ぶ（『東洋』 25(2)）	副島八十六		大正11年		印刷			1冊	
228		英領北ボルネオ要項	副島八十六		大正13年3月21日		ペン	ノート		1冊	
229		英領北ボルネオの木材	副島八十六		[大正13年]		ペン	ノート		1冊	
230		北ボルネオの天産物	副島八十六		[大正13年]		ペン	ノート		1冊	北ボルネオの地図、1枚

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
231		『あかつき』5(3)	女子仏教青年会		昭和4年3月1日		印刷		副島八十六「噫天香女子」	1冊	
232		印度の大勢	副島八十六		昭和5年10月		印刷、鉛筆		線引	1冊	
233		葉隠（鍋島論語）——武士道の一大標本（『明るい家』158抜刷）	副島八十六		昭和5年11月1日		印刷			1冊	
234		武士道の真髓（『奉公』329抜刷）	副島八十六		昭和5年6月11日		印刷			1冊	
235		武士道の神髓	副島八十六		初出昭和5年6月11日、昭和8年2月11日補正		印刷			1冊	
236		五十有余年間の回顧	副島八十六		昭和6年		ペン		コピーのみ現存	1綴	
237		浄曲の章句改竄を難ず（『明るい家』168抜刷）	副島八十六		昭和6年9月1日		印刷、鉛筆			1冊	
238		義太夫論	副島八十六		昭和6年9月1日	義太夫節の神髓、浄曲の章句改竄を難ず	印刷			1冊	
239		印度の種々相	副島八十六		昭和7年6月10日		印刷			1冊	
240		斎藤首相に与ふるの書（『日本及日本人』253抜刷）	副島八十六		昭和7年6月30日		印刷、鉛筆		書き込み有	1冊	
241		桐谷洗鱗君の追憶（『あかつき』8(8)抜刷）	副島八十六		昭和7年8月	桐谷洗鱗画伯追悼号	印刷			1冊	
242		印度関税引上問題の経過ほか1篇（『日印協会会報』52抜刷）	副島八十六		昭和7年12月23日	「逝ける喜多理事と桐谷画伯」も収める	印刷			1冊	
243		日本帝国の世界的使命（『教育と宗教』5(4)抜刷）	副島八十六		昭和8年4月1日		印刷、ペン		1冊は初出雑誌の表紙有、書き込み有	同文2冊	
244		日印通商条約廃棄と我対策	副島八十六		昭和8年4月19日		印刷		東京中央放送局放送原稿	1冊	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
245		印度人の国民性と日印通商条約破棄（『有終』20(9)抜刷）	副島八十六		昭和8年9月5日		印刷		6月15日本会〔有終会〕講演、1冊は初出雑誌の表紙有、線引有	同文2冊	
246		日英経済抗争問題解説（『帝国教育』(635)抜刷）	帝国教育会		昭和8年10月1日		印刷		1冊は初出雑誌の表紙有	同文2冊	
247		日印通商条約廃棄通告以後デリー会商迄	副島八十六		昭和8年10月30日		印刷			1冊	
248		皇太子殿下の御降誕をことほきまつりて	副島八十六		〔昭和8年12月〕	和歌2首	印刷			1枚	
249		帰郷土産－佐賀方言－	副島八十六		昭和8年		印刷	日本放送協会五号用紙	番号66、68、143、144、154、249、263、267、276、278、279もと同封	1枚	
250		『ローマ字』29(4)	ローマ字ひろめ会		昭和9年4月1日		印刷		鎌田先生記念号。副島八十六「謙尊而光」（鎌田栄吉追悼文、2月27日付）を収める	1冊	
251		日印会商の経緯（『日本及日本人』（6月1日号）抜刷）	副島八十六		昭和9年6月1日		印刷			1冊	
252		即時華府条約廃棄を通告せよ（『日本及日本人』（10月1日号）抜刷）	副島八十六		昭和9年10月1日		印刷			1冊	
253		印度の大勢（『東方之国』9(2)抜刷）	副島八十六		昭和9年11月1日		印刷			1冊	
254		亜細亜の復興と日本国民の使命（『明倫』3(4)抜刷）	副島八十六		昭和10年4月1日		印刷			1冊	
255		天皇機関説と新聞紙（『奉公』42(6)抜刷）	副島八十六		昭和10年6月11日		印刷			1冊	
256		東洋和平根本義（『日本及日本人』（新年倍大號）(332)抜刷）	副島八十六		昭和10年12月5日		印刷			1冊	
257		東洋和平根本義ゲラ	副島八十六		昭和10年		印刷、鉛筆			5枚	
258		東洋和平根本義（『明倫』4(1)抜刷）	明倫会		昭和11年1月1日		印刷			1冊	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
259		渋沢青淵翁を憶ふ	副島八十六		昭和11年4月		ペン	原稿用紙	封筒に「渋沢翁に関する近懐 渋沢家よりの依頼にて■書」	10枚	
260		貿易国策樹立の急務	副島八十六		昭和11年10月18日		印刷		作成年は文中より取得したが、 番号261よりも後に印刷したもの と思われる	1冊	
261		貿易国策樹立の急務（『創造』7(12)抜刷）	副島八十六		昭和12年12月1日		印刷			1冊	
262		選挙雑感（『祖国』9(5)抜刷）	副島八十六		昭和12年6月1日		印刷		書込有	1冊	
263		大谷尊由師に寄す（中外日報記事切抜）	副島八十六		昭和12年7月9日、 10日		印刷		番号66、68、143、144、154、 249、263、267、276、278、279 もと同封	1枚	
264		勝海舟先生訪問記——明治三十年二月十八日の日記より（『明治大正史談』7(20)抜刷）	副島八十六		昭和12年8月6日		印刷			同文2冊	
265		日支事変の真相を闡明して 印度国民諸君に告ぐ	副島八十六		昭和13年1月25日		印刷			1冊	
266		印度の産業資源に就いて （『宇宙』13(6)抜刷）	宇宙社		昭和13年6月		印刷			1冊	
267		時事偶感	副島八十六		昭和13年		印刷		番号66、68、143、144、154、 249、263、267、276、278、279 もと同封	1枚	
268		欧州大戦と日米の立場 （『海外之日本』14(7)抜刷）	海外之日本社		昭和15年7月30日		印刷			1冊	
269		時事偶感（『肥前協会』76抜刷）			昭和15年8月		印刷			1冊	
270		赤道直下の半歳（『日印協会会報』78）	副島八十六		昭和17年2月11日		印刷			1冊	
271		大東亜戦争と皇国日本の使命	副島八十六		昭和17年3月10日		墨書		日野町における講演要旨	1巻	封筒、1枚
272		印度に就て（『道』409抜刷）	副島八十六		昭和17年7月		印刷			1冊	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
273		印度の概観（『大日本無尽新報』切抜）			昭和17年8月5日～10月5日		印刷		同文1枚	1枚	
274		日本音楽の南方及印度進出上の一考察	副島八十六		昭和18年2月1日		印刷		日印協会会報 87号（昭19.9）巻頭言として掲載	1冊	
275		亜細亜の復興と日本国民の使命（『日印協会会報』87号抜刷）	副島八十六		昭和19年9月30日		印刷		「日本音楽の南方及印度進出上の一考察」併録	1冊	
276		詠草	副島八十六				ペン	読売新聞出版部原稿用紙	番号66、68、143、144、154、249、263、267、276、278、279 もと同封	5枚	
277		大隈侯と日印関係	副島八十六				ペン		講演原稿	7枚	
278		国学の泰斗 井上通泰博士	副島八十六				印刷		番号66、68、143、144、154、249、263、267、276、278、279 もと同封	同文2枚	
279		佐賀方言『不如帰』の一節	不明				印刷[謄写]		番号66、68、143、144、154、249、263、267、276、278、279 もと同封	1綴	
280		東京附近代表的山桜名勝巡遊案内略図	副島八十六				印刷[謄写]			1点	
281		〔日本音楽の歴史〕	副島八十六				墨書	巻紙	講演原稿	1巻	

7 関連記事

282		スクラップブック			明治29年9月13日～明治37年2月1日	各新聞所載の副島のレポート、南洋渡航壮行会の記念写真、Siam Free Press所載の副島紹介記事を収める	印刷			1冊	
283		〔タゴール来日関係記事〕（『報知新聞』記事コピー）			大正5年5月29日～6月11日		コピー			12枚	
284		時代錯誤の長閥内閣（『中外』記事切抜）	山口孤剣		大正7年3月		印刷、赤鉛筆		線引有。140頁下、副島に言及	1冊	
285		商工立策に依れ（『産業界』4月号）抜刷）	産業社		大正12年4月		印刷			1冊	
286		現代名士一家一言録（『現代』4(7)抜刷）	大日本雄弁会講談社		大正12年7月1日		印刷			1冊	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
287		副島氏の記念出版（『青山学報』記事切抜）			大正14年11月20日		印刷			1枚	
288		第一回貿易会議（『海外発展』7抜刷）	海外情報社		大正15年11月1日		印刷			1冊	
289		国防座談会の景況（『大日本国防義会会報』131抜刷）	大日本国防義会		昭和7年3月		印刷			1冊	
290		『日本と世界』3	文明協会		昭和7年6月5日		印刷		大隈侯敬慕号、編輯後記で副島に言及。番号509に関連	1冊	
291		日印通商条約廃棄問題放談会（『民政』7(5)抜刷）	民政社		昭和8年5月1日		印刷			1冊	
292		印度復興後援会堂々の陣容整ふ（『中外日報』記事切抜）			昭和9年11月6日		印刷			1枚	
293		Fortnightly Travel News	Japan Tourist Bureau		昭和9年4月1日	The Essence of Bushido'	印刷			3冊	
294		『会報』32	東京仏教倶楽部		昭和9年5月1日		印刷			1冊	
295		夏の食養生と銷夏千態（『富久』1(2)抜刷）	東京実業社		昭和9年7月25日		印刷			1冊	
296		意義深き本部評議員会			[昭和11年]		印刷			1枚	
297		しっかりやって呉れー東京涙骨会の席上にて『中外日報』)			昭和11年10月15日		印刷			1枚	
298		聯合通報 第十七回	大阪府立貿易館内商品陳列所聯合会		昭和11年12月1日	第12回商品陳列所聯合会々議概況報告	印刷			1冊	
299		聖峰踏破の勇士を迎へ東京駅頭感激に沸騰（『東京日日新聞』記事切抜）			昭和11年12月4日		印刷			1枚	
300		祝辞（『大東亜婦人聯盟会報』記事切抜）			昭和11年4月18日		印刷			1枚	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
301		建武義会創立さる（『佐嘉新報』記事切抜）			昭和11年4月20日		印刷			1枚	
302		桜の会（『日本』記事切抜）			昭和11年5月2日		印刷			1枚	
303		勝海舟先生の遠城謙道師評（『東京日日新聞』記事切抜）			昭和11年5月27日		印刷			1枚	
304		昭和11年要目（『日本』記事切抜）			昭和11年5月2日		印刷			1枚	
305		聖山の無聖庵（『日本』記事切抜）			昭和11年6月20日		印刷			1枚	
306		義太夫の話（『朝日新聞』記事切抜）			昭和11年8月27日		印刷			1枚	
307		四団体の歓迎会（『中外日報』記事切抜）			昭和11年9月10日		印刷			1枚	
308		東京涙骨会発会式の盛況（『中外日報』記事切抜）			昭和11年9月29日		印刷			1枚	
309		『高日本』253号			昭和11年9月15日	聖山の草廬を訪ふ荒木将軍	印刷			1枚	
310		印度座談会『東洋』40（11）抜刷	東洋協会		昭和12年11月1日		印刷			1冊	
311		近頃癩にさはること（『祖国』9（7）抜刷）	学苑社		昭和12年8月		印刷			1冊	
312		東洋諸国の現勢（『都新聞』記事切抜）			昭和13年2月6日		印刷			1枚	
313		日本人として誰も一度は是非読んで置くべき書名と著者名（『現代』19（5）抜刷）	大日本雄弁会講談社		昭和13年5月		印刷			1冊	
314		『吾徒』40	新仏教徒同志会会報		昭和13年8月		印刷			1冊	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
315		翼賛会改組に就て（『祖国』13(5)抜刷）	学苑社		昭和16年5月		印刷			1冊	
316		来るべき総選挙諸問題（『祖国』14(4)抜刷）	学苑社		昭和17年4月		印刷			1冊	
317		近頃感心したこと愉快に思ったこと心強く思ったこと（『祖国』14(7)抜刷）	学苑社		昭和17年4月	副島八十六「大東亜戦争と日本国民の覚悟」	印刷			1冊	
318		『浄曲新報』105号			昭和17年4月15日		印刷			1枚	
319		内閣諸公に呈す！！（『日本』記事切抜）	春秋山人		昭和20年2月18日		印刷			1枚	
320		友人に送った一葉の手紙佐賀市で反故整理中に発見（『朝日新聞』記事切抜）			昭和30年7月3日		印刷			3枚	
321		大日本実業協会役員肖像					印刷		書籍の1ページカ	1枚	
8 日印協会・南洋関係											
322		南亜商会発起会招待状	副島八十六		明治34年2月7日		蒔莢版	葉書		1通	
323		副島壮行会招待状	巖本善治・戸水寛人・戸川安宅・押川方義・坪井正五郎・長岡護美・松村介石・酒井恒矢・島田三郎		明治34年9月11日		印刷	葉書		1通	
324		蘭領爪哇行挨拶状	副島八十六		明治34年10月3日		印刷	葉書		1通	
325		日暹修交宣言調印満五十週年記念晩餐会献立			昭和12年9月26日		印刷		近衛文麿、荒木貞夫、米内光正、広田弘毅、緒方竹虎らの寄書き	1枚	
326		『京都仏教倶楽部報』			昭和9年6月		印刷		「印度大震災に関して日本全国民に訴ふ」	1冊	
327		印度大震災に関して日本全国民に訴ふ	大隈信常		昭和9年4月8日		印刷			1点	
328		印度とは如何なる国か	日印協会		昭和12年		印刷			1点	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
329		張傳望履歴書					墨書			1点	
9 政界関係											
330		[衆議院議員立候補挨拶状]	副島八十六		大正4年		印刷			1通	
331		[衆議院議員立候補抱負]	副島八十六		大正4年1月23日		印刷			1通	
332		衆議院議員候補者名刺	副島八十六		大正4年		印刷			同文2枚	
333		副島八十六推薦状	大隈重信・大浦兼武・加藤高明・若槻礼次郎・尾崎行雄・一木喜徳郎・河野広中・武富時敏・箕浦勝人・島田三郎・仙石貢		大正4年2月		印刷			1通	封筒、1枚
334		推薦状	大隈重信		大正4年		印刷	葉書		同文2通	
335		推薦状	徳富蘇峰		大正4年3月6日		墨書			1通	
336		副島八十六君履歴及び性格一斑	杉山茂丸		大正4年2月		ペン、鉛筆		番号337の初稿	13枚	
337		副島八十六君履歴及び性格一斑	杉山茂丸		大正4年2月		ペン、墨書	其日庵原稿用紙	番号336の二稿	10枚	
338		朝から晩まで立ち働き参謀の役を勤る副島候補の夫人(『読売新聞』記事切抜)			大正4年2月22日		印刷			1点	
339		押川方義推薦状	大隈信常・松平康国・五百木良三・副島八十六・桜井彦一郎		大正6年4月		印刷			1通	
340		高岡大輔推薦状	大竹貫一		昭和11年2月		印刷			1通	
341		高岡大輔推薦状	安達謙蔵		昭和11年2月		印刷			1通	
342		高岡大輔推薦状	副島八十六		昭和11年2月		印刷			1通	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
343		高岡大輔推薦状	高岡忠弘		昭和11年2月		印刷			1通	
344		野呂彦太郎推薦状	大隈信常		昭和12年2月		印刷			1通	
10 写真											
345		写真（大隈重信肖像）					写真		表面「S. Suzuki Kudanzaka Tokio Japan」裏面「鈴木真一 横浜真砂町 東京九段坂」	1枚	
346		絵葉書（大隈重信夫妻及御母堂）					写真（印刷）			1枚	
347		絵葉書（軽井沢大隈邸）					写真（印刷）			7枚	
348		写真（副島八十六・大隈重信・他2名）					写真		東京九段坂 佐藤写真館	1枚	
349		写真（ゼー・エン・ターター大隈邸に於て）				右から大隈重信、大隈信常、ジャムシェッディ・タタ、不明、副島八十六	写真		平野守信写真館	1枚	
350		写真（副島八十六・大隈重信・陳福祿）					写真		東京九段坂 佐藤写真館	1枚	
351		写真（大隈重信肖像）					写真		米国写真学士 佐藤福待撮影	2枚	
352		写真（大隈重信肖像）					写真		小川一真写真館	1枚	
353		写真（大隈重信、副島八十六、他）					写真		台紙に箱根宮ノ下 戸倉、台紙裏に明治四十年三月十四日■ 函嶺宮の下奈良屋庭園に於て記念撮影	1枚	
354		写真（大隈重信、副島八十六、他）					写真		本郷弓町阿部写真館	1枚	
355		写真（大隈重信銅像）					写真			1枚	

副島八十六関係文書目録

請求 番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
356		写真（大隈重信他集合写真）					写真			1枚	
357		写真（大隈重信他集合写真）					写真			1枚	
358		写真（大隈重信他集合写真）					写真			1枚	
359		写真（大隈重信他集合写真）					写真		後列右から6番目に副島	1枚	
360		写真（社会教育会）					写真		中央に大隈重信	1枚	
361		写真（明治37年の早稲田の教授陣）			明治37年9月14日		写真 （コピー）			2枚	明治37年の早稲田の教授陣名簿、1点
362		写真（明治37年の早稲田の教授陣）			明治37年9月14日		写真 （ネガ）		番号361のネガ	1枚	
363		写真（大隈信常肖像）			昭和5年12月15日		写真		台紙に呈 副島老兄	1枚	
364		写真（大隈侯日印協会会食）					写真			1枚	
365		写真（大隈邸日印協会）					写真			1枚	
366		写真（大隈邸日印協会会食）					写真			1枚	
367		写真（男性2名）			明治39年1月15日		写真		米国写真学士 佐藤福待撮影	1枚	
368		写真（男性2名）					写真		米国写真学士 佐藤福待撮影	1枚	
369		写真（勝海舟肖像）					写真		裏にKATSZ RiN TAROO	1枚	

副島八十六関係文書目録

請求 番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
370		写真（勝海舟肖像）					写真		番号369を引き伸ばしたもの	1枚	
371		写真（勝海舟肖像）					写真		呈 為記念副島八十六君 梶 U. S. K	1枚	
372		写真（勝海舟肖像）					写真			1枚	
373		写真（勝海舟肖像）					写真			1枚	
374		写真（門野重九郎 全りよ 子 目賀田種太郎女）					写真		後筆「逸子 海舟の娘」、九段 坂鈴木真一写真館	1枚	
375		写真（海舟先生令夫人及遺 族）					写真			1枚	
376		写真（孫文肖像）			明治33年6月7日		写真		奉呈 副嶋八十六君晒存 孫文 逸仙	1通	封筒、1枚
377		写真（奉呈 副島仁兄大人 孫文）					写真		人物は映っていない	1枚	
378		写真（副島八十六肖像）					写真			1枚	
379		写真（副島八十六他、晚餐 会）					写真		台紙に山本讃七郎 北京	1枚	
380		写真（集合写真）					写真			1枚	
381		写真（副島八十六、野口米 次郎、大石熊雄）			明治38年10月		写真			1枚	
382		写真（晚餐会）					写真 （印 刷）			1枚	
383		写真（集合写真）					写真 （印 刷）			1枚	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
384		写真（副島八十六他、晩餐会）					写真（印刷）		番号379と同一	1枚	
385		写真（東洋青年会）			明治34年1月24日		写真（印刷）			1枚	
386		写真（二十三夜会第六百回祝賀会）					写真（印刷）		台紙に参列者の名前を記載	1枚	台紙、1点
387		写真（二十三夜会第七百回記念）			昭和18年1月23日		写真（印刷）			1枚	台紙、1点
388		写真（張人駿肖像）					写真（印刷）		副島提調監 張人駿贈	1枚	
389		写真（副島八十六、他）					写真（印刷）			1枚	
390		写真（副島八十六、他）					写真（印刷）		相州箱根芦之湖畔・戸田健治郎写真館	1枚	台紙、1点
391		写真（副島八十六）			明治30年		写真		裏書（丁酉春日）	1枚	
392		写真（副島八十六 他）			明治30年		写真		裏書（丁酉中夏撮影於暹羅磐各府）	1枚	
393		写真（副島八十六 他）			明治36年		写真		裏書（明治三十六年春ジャワスラバヤに於て）	1枚	
394		写真（副島八十六 他）			明治36年		写真		裏書（36年春ジャハ、スラバヤニ於テ）	1枚	
395		写真（集合写真）			明治42年	副島八十六は前列左から二人目	写真		裏書（明治42年晩秋 宇治花やしきに於ける）	1枚	
396		写真（副島八十六）					写真			1枚	
397		写真（副島八十六）					写真		朝日新聞記者撮影	1枚	
398		写真（副島八十六、）					写真			1枚	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
399		写真（副島八十六、）					写真			1枚	
400		写真（副島五十枝）					写真			1枚	
401		写真（女性3名）					写真（印刷）			1枚	
402		写真（亡父七十七誕辰親族集合写真）			明治37年10月17日		写真（印刷）			1枚	
403		写真（常照寺九重桜）			昭和9年4月	京都常照皇寺、九重桜の写真。裏面にペンで説明を付し、鉛筆で校正。	写真（印刷）			1枚	
404		写真（常照寺九重桜）			[昭和9年4月]		写真（印刷）		裏面に「陵下ヨリ撮影」	1枚	
405		写真（反英示威運動）					写真（印刷）			1枚	
406		写真（原住民）					写真（印刷）			1枚	
407		写真（伊豆 山峯附近 梅林）					写真（印刷）		表面右下端に「河津 林 伊豆」の刻印	1枚	
408		絵葉書（葉山の風景）					写真（印刷）			5枚	
409		絵葉書（戸隠全景）					写真（印刷）		信州戸隠山参拝記念のスタンプ	1枚	
410		絵葉書（大島風俗 毒蛇飯匙蛇）					写真（印刷）			1枚	
411		絵葉書（箱根塔之沢）					写真（印刷）		番号85～90のとあり	1枚	
412		絵葉書（宮城二重橋に陳列せる戦利砲）			明治39年4月30日		写真（印刷）		明治三十七八年戦役陸軍凱旋観兵式記念切手およびスタンプ	1枚	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
413		絵葉書（帝劇専属女優無名会号堂）					印刷、墨書、ペン		サイン入り	13枚	
414		絵葉書（文藝協会第三回公演）			[明治45年5月]		写真（印刷）			5枚	
415		写真（チマチョゴリ姿少女）					写真（印刷）		番号416と一対、406と関連カ（判形が同じ）	1枚	
416		写真（チマチョゴリ姿少女）					写真（印刷）		番号415と一対、406と関連カ（判形、台紙が同じ）	1枚	
417		写真（風景）					写真（印刷）			1枚	
418		写真（軍隊）					写真（印刷）			1枚	
419		写真（徳川慶喜授爵記念集合写真）			明治35年		写真		裏書（人名）あり	1枚	
11 履歴資料											
420		小学初等科卒業証書	醍醐学校	副島八十六	明治17年5月14日		墨書			1通	
421		表彰状	宇治郡役所	副島八十六	明治17年5月14日		墨書			1通	
422		小学中等科第五級卒業証書	醍醐小学校	副島八十六	明治19年4月29日		印刷、墨書			1通	
423		小学中等科第四級卒業証書	醍醐小学校	副島八十六	明治19年4月30日		印刷、墨書			1通	
424		高等小学校編入証	広芝小学校	副島八十六	明治20年7月1日		印刷、墨書			1通	
425		高等小学第二学年修了証書	宇治郡第二高等小学校	副島八十六	明治21年6月30日		印刷、墨書			1通	
426		高等小学第三学年修了証書	宮津高等小学校	副島八十六	明治22年6月5日		印刷、墨書			1通	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
427		高等小学科卒業証書	亀岡高等小学校	副島八十六	明治23年4月14日		印刷、墨書			1通	
428		表彰状	亀岡高等小学校	副島八十六	明治23年4月14日		墨書			1通	
429		旅券			明治29年12月10日		印刷、墨書		番号430と同封	1枚	封筒、1枚
430		旅券			明治34年7月22日		印刷、墨書		番号429と同封	1枚	
431		副島家戸籍謄本			明治34年3月20日		墨書			1通	
432		副島八十六・齋藤たか婚姻届			明治34年		墨書			1通	
433		住所録	副島八十六				ペン、鉛筆			1冊	(1)第八十八号原稿追加発送先、2枚／(2)表、1枚／(3)今関寿麿名刺、1枚
434		住所録					ペン			1枚	
435		誕生日帖					印刷、墨書、ペン			1冊	
436		副島八十六履歴	副島八十六				墨書			1通	
437		〔履歴〕	副島真坦				墨書			1通	
438		封筒（実父遺墨）	副島八十六				墨書			1点	
12 五十枝関係											
439		日記	副島五十枝		明治44年1月1日～12月31日		鉛筆、ペン			1冊	朝顔様子、1枚
440		南天荘同人会第百二回詠草			大正7年6月6日		印刷〔活字〕		題：犬、溪堂	1冊	

副島八十六関係文書目録

請求 番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
441		南天荘同人会第百四回詠草			大正7年8月2日		印刷[活 字]		題：庭萩、絲	1冊	
442		南天荘同人会第百七回詠草			大正7年11月6日		印刷[活 字]		題：時雨、筏	1冊	
443		南天荘同人会第百十回詠草			大正8年2月4日		印刷[活 字]		題：鳴、若菜	1冊	
444		南天荘同人会第百十一回詠 草			大正8年3月9日		印刷[活 字]		題：鶯、笠	1冊	
445		南天荘同人会第百十二回詠 草			大正8年4月2日		印刷[活 字]		題：春田、鯉	1冊	
446		南天荘同人会第百十三回詠 草			大正8年5月5日		印刷[活 字]		題：余花、谷	1冊	
447		南天荘同人会第百十六回詠 草			大正8年8月3日		印刷[活 字]		題：露、鉢	1冊	
448		南天荘同人会第百十八回詠 草			大正8年10月3日		印刷[活 字]		題：鳴、漁火	1冊	
449		南天荘同人会第百二十回詠 草			大正8年12月8日		印刷[活 字]		題：冬海、旅中雨	1冊	
450		石榴会第四十三回詠草			大正9年2月		印刷[謄 写]			1冊	
451		梧桐会第十八回詠草			大正9年3月		印刷[謄 写]			1冊	
452		梧桐会第十九回詠草			大正9年5月		印刷[謄 写]			1冊	
453		梧桐会第二十回詠草			大正9年7月		印刷[謄 写]			1冊	
454		梧桐会第二十一回詠草			大正9年10月		印刷[謄 写]			1冊	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
455		梧桐会第二十二回詠草			大正9年12月		印刷[謄写]			1冊	
456		梧桐会第二十三回詠草			大正10年2月		印刷[謄写]			1冊	
457		梧桐会第廿六回詠草			大正10年6月		印刷[謄写]			1冊	
458		おことわり	梧桐会幹事		5月13日		印刷[謄写]			1通	
459		詠草	副島五十枝				墨書		題詠（桜花、春雨、山吹、谷蛩、	1冊	
460		詠草	副島五十枝				墨書		題詠（紫陽花、夏月、庭萩、糸、夕立、短夜など）	1冊	
461		詠草	副島五十枝				墨書		題詠（嶋、冬海、時雨、雪中松、木枯など）	1冊	
462		詠草 二	副島五十枝				墨書		題詠（初秋風、庭虫、女郎花、夕虫、雨後月、雁、野分、田、時雨、筏など）	1冊	
463		詠草 第四	副島五十枝		大正8年7月24日		墨書		題詠（露）	1冊	
464		五十枝幼少時の色紙等	副島五十枝							4点	
465		[志のぶ草]				日本女子大高等女学校の教え子による五十枝の追悼文集	ペン	原稿用紙		1冊	
466		手向草				日本女子大高等女学校の教え子による五十枝の追悼文集	ペン	原稿用紙		1冊	
467		短冊（副島五十枝の詠草を閲して）	井上通泰			同一の和歌を3通りに記す	墨書		副島八十六編『副島五十枝』巻頭に所収	1点	
468		和歌	大隈光子				墨書	色紙		1点	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
469		弔画	大隈豊子				墨書	色紙	副島五十枝逝去にあたって寄贈された弔画	1点	
470		副島令嬢稽古始の日に	外山且正		昭和4年10月		印刷[謄写]、墨書			1点	
13 書画											
471		書自画山水後草稿	佐久間象山		[文久元年]		墨書		『象山先生文稿』所収（『増訂象山全集』巻一、p. 43）	1点	封筒、1枚
472		色紙（守中）			大正12年		墨書			1点	
473		色紙（蜃堂武富先生喜寿）	田中秀夫	武富時敏	昭和8年		墨書		『肥前協会』第12巻第62号（昭和14年）所収	1点	
474		歌一首	松岡静雄		昭和8年		墨書			1点	
475		寄書（二十三夜会）	副島八十六・鍋島直明・大隈信常・水町雄次ほか		昭和9年10月23日		墨書			1点	
476		伊豆南端大智の浦	荒井寛方	副島八十六	昭和10年1月4日	水墨画と作成の由来	墨書	葉書、和紙		1点	
477		伊豆南端所見	荒井寛方	副島八十六	昭和10年1月4日	水墨画と作成の由来	墨書	葉書、和紙		1点	
478		伊豆南端大智	荒井寛方	副島八十六	昭和10年1月4日	水墨画と作成の由来	墨書	葉書、和紙		1点	
479		和歌	[大隈光子]				墨書	葉書		1点	
480		色紙（秋意）	渡辺海旭				墨書		『壺月全集』下、p. 468にほぼ同文の詩を掲載	1点	
481		寄書	副島八十六・森下岩太郎・江見水蔭ほか				墨書	色紙		1点	
482		色紙（石庭年々云々）	武富時敏				墨書			1点	

副島八十六関係文書目録

請求番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
483		色紙（勇気義心云々）	武富時敏				墨書			1点	
484		色紙（雲散一峯秀）	荒木貞夫				墨書			1点	
485		寄書	副島八十六・荒木貞夫・真崎甚三郎ほか		昭和12年11月1日		墨書	色紙		1点	
486		色紙（人天交接云々）	真崎甚三郎				墨書			1点	
487		色紙（祝 副島君万歳）	皆■				墨書、 彩色			1点	
488		色紙（水墨画）	[黎世綬]				墨書、 彩色			1点	
489		色紙（似顔絵、寄書）			昭和15年6月26日		墨書			1点	
490		扇（凶南）	孫文	副島八十六			墨書			1点	
491		歌一首	井上通泰				墨書		『南天荘歌稿』p.7所収	1点	
492		短冊	外山且正			和歌2首	墨書		1首は副島八十六編『副島五十枝』所収	1点	
493		短冊	勝安芳			和歌1首	墨書			1点	
494		短冊	不明				墨書			1点	
495		明八会記念狂歌	高嶋米峰・田口掬汀・松田源治・檀野礼助ほか				墨書			1点	
496		扇面	荒木貞夫・真崎甚三郎他				墨書		牛込喜久井町副島宅にて 昭和10年位	1点	

副島八十六関係文書目録

請求 番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
497		扇（孔昭）	李■				墨書			1点	
498		書（春光千里）	不明				墨書			1点	
499	1	書（帰真云々）	川島浪速				墨書			1点	
499	2	書（高峰云々）	川島浪速				墨書			1点	
500		書（禅機云々）	川島浪速				墨書			1点	
501		肖像画（副島八十六）	〔和田〕英作				墨書			1点	
502		肖像画（副島八十六）					印刷			1点	
503		肖像画（坂本竜馬）					印刷			1点	
14 その他											
504		帝国南進策 広告					印刷			1冊	
505		〔回顧録出版のための覚書〕	不明				ペン	レポート パッド		2冊	
506		時機ノ応急手段	巖本善治	副島八十六	明治42年4月12日		墨書	副島八十六 用箋		1通	
507		義太夫新論跋文原稿	杉山茂丸	副島八十六	大正3年3月		墨書	原稿用紙		2枚	
508		浄瑠璃と民性陶冶	田中正平		昭和14年4月8日		印刷〔活 字〕			1冊	副島八十六「時事偶 感」、1点
509		十周年記念 頌大隈侯文	徳富蘇峰		昭和7年4月11日		墨書、 ペン			1冊	

副島八十六関係文書目録

請求 番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
510		画壇今昔物語	桃井忠彌				印刷			1点	
511		閨秀画壇の花形	倭文				印刷			1点	
512		荒木貞夫名刺	荒木貞夫（陸軍大将）	副島八十六			印刷、 墨書			1点	
513		荒木貞夫名刺	荒木貞夫（陸軍大将）	副島八十六			印刷、 墨書			1点	
514		荒木貞夫名刺	荒木貞夫（陸軍大将）	副島八十六	10月		印刷、 墨書			1点	
515		紅見海東雲	愛新覚羅善耆・愛新覚羅奕劻・愛 新覚羅載振・端方・岑春煊・盛宣 懷・孫文・黄興		明治42年9月		墨書			1冊	(1)序（愛新覚羅奕 劻、明治37年2月）、 2枚／(2)序（袁世凱、 明治40年10月）、6枚
516		呈外臣編修日本開国五十年 史恭摺仰祈	大隈重信		明治41年1月24日		コピー			1点	
517		一葉女史碑	杉浦重剛・幸田露伴				印刷		もと番号467と同封	1点	
518		一葉女史碑絵葉書					印刷	葉書		3枚	
519		ヒマラヤ踏査隊派遣につい て並に計画の説明	立教大学学友山岳部		昭和11年3月		印刷			1冊	
520		大隈豊子色紙（絹本）								1枚	